

# 平成 30 年度 病院事業決算状況

都道府県名 秋田県

総務省

## - 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	脳血管研究センター	2
-	リハビリテーション・精神医療センター	3
秋田市	秋田総合病院	4
横手市	横手病院	5
横手市	大森病院	6
大館市	総合病院	7
大館市	扇田病院	8
男鹿市	男鹿みなと市民病院	9
大仙市	大曲病院	10
北秋田市	北秋田市民病院	11
北秋田市	阿仁病院	12
北秋田市	米内沢総合病院	13
仙北市	田沢湖病院	14
仙北市	角館総合病院	15
羽後町	羽後病院	16

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>		都道府県名	秋田県
		市町村・組合名	
		病院名	脳血管研究センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	1,023,119	
決算規模（千円）	598,044,832	
標準財政規模（千円）	322,519,605	
財政力指数	0.31248	
経常収支比率（%）	93.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	13.3
	将来負担比率（%）	256.9

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,403			
1 経常収益	1,403			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,403			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,403			
2 経常費用	1,403			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	61.8
材料費	-	-	24.1	17.7
(うち薬品費)	-	-	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	8.2
減価償却費	-	-	9.2	10.4
経費	-	-	23.2	29.9
(うち委託料)	-	-	11.3	12.9
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	1,403			
(うち支払利息)	1,403	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	80.7

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (30年度)		都道府県名	秋田県
		市町村・組合名	
		病院名	リハビリテーション・精神医療センター
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	300床以上～400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		1,023,119
決算規模(千円)		598,044,832
標準財政規模(千円)		322,519,605
財政力指数		0.31248
経常収支比率(%)		93.0
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.3
	将来負担比率(%)	256.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	144,855			
1 経常収益	144,855			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	144,855			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	144,855			
2 経常費用	144,855			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	57.1
材料費	-	-	24.1	23.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.4
減価償却費	-	-	9.2	9.5
経費	-	-	23.2	22.0
(うち委託料)	-	-	11.3	10.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	144,855			
(うち支払利息)	144,855	-	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	-		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	85.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度)	都道府県名	秋田県
	市町村・組合名	秋田市
	病院名	秋田総合病院

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	315,814	
決算規模(千円)	132,509,902	
標準財政規模(千円)	71,630,958	
財政力指数	0.67	
経常収支比率(%)	91.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	77.1

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	14,464			
1 経常収益	14,464			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	14,464			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,464			
2 経常費用	14,464			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	54.1
材料費	-	-	24.1	26.3
(うち薬品費)	-	-	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	12.3
減価償却費	-	-	9.2	8.3
経費	-	-	23.2	19.0
(うち委託料)	-	-	11.3	9.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	14,464			
(うち支払利息)	14,464	-	1.6	1.5
(3) 特別損失	-			
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	99.3
医業収支比率	-		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	-		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	100.0		86.0	89.4

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	秋田県
	市町村・組合名	横手市
	病院名	横手病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,112 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨感 輪
診療科数	17	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	対象	類似区分	200床以上~300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	225	75.6	81.0	76.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	229	74.2	79.5	74.9
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.4	11.3

設立団体の状況		
人口(人)	92,197	
決算規模(千円)	52,225,461	
標準財政規模(千円)	31,092,776	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	12.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,302,286			
1 経常収益	5,302,286			
(1) 医業収益	5,007,209			
入院収益	3,066,493			
外来収益	1,603,394			
診療収入計	4,669,887			
その他医業収益	337,322			
(うち他会計負担金)	77,246			
(2) 医業外収益	295,077			
(うち国・都道府県補助金)	6,325			
(うち他会計補助・負担金)	255,144			
(うち長期前受金戻入)	847			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,159,771			
2 経常費用	5,159,552			
(1) 医業費用	5,117,173			
職員給与費	2,711,181	54.1	56.0	59.3
材料費	1,151,110	23.0	24.1	19.3
(うち薬品費)	632,700	12.6	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	516,475	10.3	11.1	9.2
減価償却費	324,916	6.5	9.2	10.3
経費	911,958	18.2	23.2	27.6
(うち委託料)	336,946	6.7	11.3	12.3
研究研修費	16,740			
資産減耗費	1,268			
(2) 医業外費用	42,379			
(うち支払利息)	40,599	0.8	1.6	1.7
(3) 特別損失	219			
損益				
経常損益	142,734			
純損益	142,515			
累積欠損金	-			
経常収支比率	102.8		98.2	96.7
医業収支比率	97.9		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	6.6		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	6.3		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	96.3		86.0	83.4

備考:  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,153,719
1 固定資産	5,975,292
(1) 有形固定資産	5,971,864
(2) 無形固定資産	1,028
(3) 投資その他の資産	2,400
2 流動資産	5,178,427
(1) 現金及び預金	3,889,789
(2) 未収金及び未収収益	1,226,176
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	41,037
3 繰延資産	-
負債合計	6,210,735
1 固定負債	4,991,259
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,993,954
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	997,305
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,167,993
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	577,505
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	229,329
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	318,769
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	51,483
(1) 長期前受金	709,143
(2) 長期前受金収益化累計額( )	657,660
資本合計	4,942,984
1 資本金	4,940,843
2 剰余金	2,141
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,141
負債・資本合計	11,153,719
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	96.3
修正医業収支金額(千円)	4,929,963

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	354,971	332,390
資本勘定繰入	162,416	94,837
計	517,387	427,227

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	秋田県
	市町村・組合名	横手市
	病院名	大森病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	9,564 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救 輪
診療科数	13	看護配置	7:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	100	95.4	95.5	98.1
療養	50	89.0	92.7	96.6
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	150	93.3	94.6	97.6
平均在院日数(一般病床のみ)		35.4	35.3	34.4

設立団体の状況		
人口(人)	92,197	
決算規模(千円)	52,225,461	
標準財政規模(千円)	31,092,776	
財政力指数	0.32	
経常収支比率(%)	89.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.8
	将来負担比率(%)	12.2

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	89.6
修正医業収支金額(千円)	2,157,672

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,415,519			
1 経常収益	2,415,519			
(1) 医業収益	2,197,850			
入院収益	1,513,301			
外来収益	519,052			
診療収入計	2,032,353			
その他医業収益	165,497			
(うち他会計負担金)	40,178			
(2) 医業外収益	217,669			
(うち国・都道府県補助金)	2,590			
(うち他会計補助・負担金)	168,635			
(うち長期前受金戻入)	4,929			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,452,589			
2 経常費用	2,452,543			
(1) 医業費用	2,408,268			
職員給与費	1,314,851	59.8	56.0	61.8
材料費	337,925	15.4	24.1	17.7
(うち薬品費)	159,332	7.2	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	172,722	7.9	11.1	8.2
減価償却費	154,947	7.0	9.2	10.4
経費	588,157	26.8	23.2	29.9
(うち委託料)	232,550	10.6	11.3	12.9
研究研修費	11,261			
資産減耗費	1,127			
(2) 医業外費用	44,275			
(うち支払利息)	43,562	2.0	1.6	1.7
(3) 特別損失	46			
損益				
経常損益	-37,024			
純損益	-37,070			
累積欠損金	459,508			
経常収支比率	98.5		98.2	96.7
医業収支比率	91.3		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	8.6		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	9.5		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	8.6		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	90.0		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,153,719
1 固定資産	5,975,292
(1) 有形固定資産	5,971,864
(2) 無形固定資産	1,028
(3) 投資その他の資産	2,400
2 流動資産	5,178,427
(1) 現金及び預金	3,889,789
(2) 未収金及び未収収益	1,226,176
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	41,037
3 繰延資産	-
負債合計	6,210,735
1 固定負債	4,991,259
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,993,954
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	997,305
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,167,993
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	577,505
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	229,329
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	318,769
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	51,483
(1) 長期前受金	709,143
(2) 長期前受金収益化累計額( )	657,660
資本合計	4,942,984
1 資本金	4,940,843
2 剰余金	2,141
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	2,141
負債・資本合計	11,153,719
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	253,188	208,813
資本勘定繰入	158,777	134,908
計	411,965	343,721

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度 )				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	大館市
				病院名	総合病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透末訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	43,423 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感災		
診療科数	25	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	375	70.6	70.2	72.1
療養	-	-	-	-
結核	6	-	-	-
精神	60	47.1	39.8	53.2
感染症	2	-	-	-
計	443	66.2	64.8	68.3
平均在院日数（一般病床のみ）		12.3	12.8	13.5

設立団体の状況		
人口（人）	74,175	
決算規模（千円）	37,643,903	
標準財政規模（千円）	21,604,036	
財政力指数	0.42	
経常収支比率（%）	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	8.5
	将来負担比率（%）	72.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	88.0
修正医業収支金額（千円）	8,560,389

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,946,264			
1 経常収益	9,929,538			
(1) 医業収益	8,687,569			
入院収益	4,945,583			
外来収益	3,360,940			
診療収入計	8,306,523			
その他医業収益	381,046			
(うち他会計負担金)	127,180			
(2) 医業外収益	1,241,969			
(うち国・都道府県補助金)	40,953			
(うち他会計補助・負担金)	1,053,288			
(うち長期前受金戻入)	59,580			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	16,726			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,221,985			
2 経常費用	10,193,256			
(1) 医業費用	9,730,349			
職員給与費	4,584,189	52.8	56.0	54.1
材料費	2,334,096	26.9	24.1	26.3
(うち薬品費)	1,293,648	14.9	12.6	13.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	974,888	11.2	11.1	12.3
減価償却費	570,515	6.6	9.2	8.3
経費	2,193,100	25.2	23.2	19.0
(うち委託料)	966,171	11.1	11.3	9.1
研究研修費	43,838			
資産減耗費	4,611			
(2) 医業外費用	462,907			
(うち支払利息)	141,069	1.6	1.6	1.5
(3) 特別損失	28,729			
損益				
経常損益	-263,718			
純損益	-275,721			
累積欠損金	1,303,814			
経常収支比率	97.4		98.2	99.3
医業収支比率	89.3		88.3	92.3
他会計繰入金対経常収益比率	11.9		12.5	9.9
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.6	11.2
他会計繰入金対総収益比率	11.9		12.5	9.9
実質収益対経常費用比率	85.8		86.0	89.4

備考：「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	11,592,209
1 固定資産	9,408,961
(1) 有形固定資産	9,380,530
(2) 無形固定資産	11,668
(3) 投資その他の資産	16,763
2 流動資産	2,183,248
(1) 現金及び預金	514,121
(2) 未収金及び未収収益	1,638,587
(3) 貸倒引当金（ ）	2,592
(4) 貯蔵品	31,449
3 繰延資産	-
負債合計	10,399,040
1 固定負債	6,781,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,766,276
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	6,066
2 流動負債	2,879,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	610,641
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	366,595
(6) リース債務	5,767
(7) 一時借入金	1,300,000
(8) 未払金及び未払費用	548,648
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	738,056
(1) 長期前受金	1,673,274
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	935,218
資本合計	1,193,169
1 資本金	2,227,990
2 剰余金	-1,034,821
(1) 資本金剰余金	128,538
(2) 利益剰余金	-1,163,359
負債・資本合計	11,592,209
不良債務	85,253
実質資金不足額	85,253
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位（当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある）の決算額である。	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,180,468	1,180,468
資本勘定繰入	335,271	335,271
計	1,515,739	1,515,739

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	85,253	0.9
29年度	121,492	1.3
28年度	83,099	0.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	11.8
健全化法上の資金不足額（千円）	85,253
健全化法上の資金不足比率（%）	0.8
地財法上の資金不足額（千円）	85,253
地財法上の資金不足比率（%）	0.8

備考：

- 「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- 設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	秋田県
	市町村・組合名	大館市
	病院名	扇田病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	9,305 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	5	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	62	83.3	74.9	82.4
療養	42	89.3	81.3	86.7
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	104	85.7	77.5	84.1
平均在院日数(一般病床のみ)		18.9	16.8	18.1

設立団体の状況		
人口(人)	74,175	
決算規模(千円)	37,643,903	
標準財政規模(千円)	21,604,036	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	72.9

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	84.8
修正医業収支金額(千円)	1,165,714

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,415,805			
1 経常収益	1,401,466			
(1) 医業収益	1,177,534			
入院収益	801,433			
外来収益	298,762			
診療収入計	1,100,195			
その他医業収益	77,339			
(うち他会計負担金)	11,820			
(2) 医業外収益	223,932			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	165,237			
(うち長期前受金戻入)	53,404			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	14,339			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,410,444			
2 経常費用	1,410,395			
(1) 医業費用	1,374,313			
職員給与費	697,343	59.2	56.0	61.8
材料費	172,329	14.6	24.1	17.7
(うち薬品費)	65,013	5.5	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	91,384	7.8	11.1	8.2
減価償却費	81,917	7.0	9.2	10.4
経費	418,552	35.5	23.2	29.9
(うち委託料)	146,666	12.5	11.3	12.9
研究研修費	1,501			
資産減耗費	2,671			
(2) 医業外費用	36,082			
(うち支払利息)	550	-	1.6	1.7
(3) 特別損失	49			
損益				
経常損益	-8,929			
純損益	5,361			
累積欠損金	-			
経常収支比率	99.4		98.2	96.7
医業収支比率	85.7		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	12.6		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.0		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	12.5		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	86.8		86.0	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,592,209
1 固定資産	9,408,961
(1) 有形固定資産	9,380,530
(2) 無形固定資産	11,668
(3) 投資その他の資産	16,763
2 流動資産	2,183,248
(1) 現金及び預金	514,121
(2) 未収金及び未収収益	1,638,587
(3) 貸倒引当金( )	2,592
(4) 貯蔵品	31,449
3 繰延資産	-
負債合計	10,399,040
1 固定負債	6,781,842
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	6,766,276
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	6,066
2 流動負債	2,879,142
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	610,641
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	366,595
(6) リース債務	5,767
(7) 一時借入金	1,300,000
(8) 未払金及び未払費用	548,648
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	738,056
(1) 長期前受金	1,673,274
(2) 長期前受金収益化累計額( )	935,218
資本合計	1,193,169
1 資本金	2,227,990
2 剰余金	-1,034,821
(1) 資本金剰余金	128,538
(2) 利益剰余金	-1,163,359
負債・資本合計	11,592,209
不良債務	85,253
実質資金不足額	85,253
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	177,057	177,057
資本勘定繰入	22,506	22,506
計	199,563	199,563

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	85,253	0.9
29年度	121,492	1.3
28年度	83,099	0.9

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	11.8
健全化法上の資金不足額(千円)	85,253
健全化法上の資金不足比率(%)	0.8
地財法上の資金不足額(千円)	85,253
地財法上の資金不足比率(%)	0.8

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	秋田県
	市町村・組合名	男鹿市
	病院名	男鹿みなと市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	10,936 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 へ
診療科数	13	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	145	78.7	85.0	72.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	145	78.7	85.0	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.5	20.3	20.3

設立団体の状況		
人口(人)	28,375	
決算規模(千円)	15,804,413	
標準財政規模(千円)	10,312,302	
財政力指数	0.35	
経常収支比率(%)	95.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.2
	将来負担比率(%)	90.5

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	86.3
修正医業収支金額(千円)	2,050,073

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,476,160			
1 経常収益	2,476,160			
(1) 医業収益	2,122,265			
入院収益	1,280,532			
外来収益	741,087			
診療収入計	2,021,619			
その他医業収益	100,646			
(うち他会計負担金)	72,192			
(2) 医業外収益	353,895			
(うち国・都道府県補助金)	315			
(うち他会計補助・負担金)	255,007			
(うち長期前受金戻入)	88,307			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,489,102			
2 経常費用	2,489,102			
(1) 医業費用	2,374,722			
職員給与費	1,398,699	65.9	56.0	61.8
材料費	412,329	19.4	24.1	17.7
(うち薬品費)	273,911	12.9	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	138,418	6.5	11.1	8.2
減価償却費	138,469	6.5	9.2	10.4
経費	414,284	19.5	23.2	29.9
(うち委託料)	210,267	9.9	11.3	12.9
研究研修費	3,441			
資産減耗費	7,500			
(2) 医業外費用	114,380			
(うち支払利息)	49,606	2.3	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-12,942			
純損益	-12,942			
累積欠損金	1,671,649			
経常収支比率	99.5		98.2	96.7
医業収支比率	89.4		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	13.2		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	15.4		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	13.2		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	86.3		86.0	80.7

備考：  
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,402,322
1 固定資産	1,951,279
(1) 有形固定資産	1,907,635
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	43,644
2 流動資産	451,043
(1) 現金及び預金	113,026
(2) 未収金及び未収収益	308,922
(3) 貸倒引当金( )	249
(4) 貯蔵品	29,344
3 繰延資産	-
負債合計	3,847,474
1 固定負債	2,234,100
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,991,975
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	242,125
(7) リース債務	-
2 流動負債	774,160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	291,962
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	67,727
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	300,000
(8) 未払金及び未払費用	104,886
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	839,214
(1) 長期前受金	1,211,273
(2) 長期前受金収益化累計額( )	372,059
資本合計	-1,445,152
1 資本金	28,491
2 剰余金	-1,473,643
(1) 資本剰余金	198,006
(2) 利益剰余金	-1,671,649
負債・資本合計	2,402,322
不良債務	31,155
実質資金不足額	31,155
資金不足額( )	1,445,152
資本不足額(繰延収益控除後)( )	605,938
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	326,540	327,199
資本勘定繰入	178,270	183,460
計	504,810	510,659

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	31,155	1.5
29年度	20,332	0.9
28年度	11,626	0.5

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	78.8
健全化法上の資金不足額(千円)	31,155
健全化法上の資金不足比率(%)	1.4
地財法上の資金不足額(千円)	31,155
地財法上の資金不足比率(%)	1.4

備考：  
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	大仙市
				病院名	大曲病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,857 m <sup>2</sup>	指定病院の状況			
診療科数	1	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	120	82.7	80.2	85.4
感染症	-	-	-	-
計	120	82.7	80.2	85.4
平均在院日数（一般病床のみ）				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	82,783	
決算規模（千円）	48,054,733	
標準財政規模（千円）	28,346,381	
財政力指数	0.34	
経常収支比率（%）	90.9	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	12.2
	将来負担比率（%）	128.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	74.4
修正医業収支金額（千円）	603,160

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	868,099			
1 経常収益	868,099			
(1) 医業収益	603,160			
入院収益	522,507			
外来収益	76,601			
診療収入計	599,108			
その他医業収益	4,052			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	264,939			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	240,314			
(うち長期前受金戻入)	22,392			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	840,403			
2 経常費用	838,562			
(1) 医業費用	810,183			
職員給与費	486,410	80.6	56.0	96.0
材料費	35,680	5.9	24.1	8.6
(うち薬品費)	28,280	4.7	12.6	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	7,400	1.2	11.1	1.0
減価償却費	46,499	7.7	9.2	12.5
経費	239,746	39.7	23.2	34.0
(うち委託料)	91,823	15.2	11.3	16.5
研究研修費	1,790			
資産減耗費	58			
(2) 医業外費用	28,379			
(うち支払利息)	28,183	4.7	1.6	3.2
(3) 特別損失	1,841			
損益				
経常損益	29,537			
純損益	27,696			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.5		98.2	100.0
医業収支比率	74.4		88.3	65.9
他会計繰入金対経常収益比率	27.7		12.5	34.0
他会計繰入金対医業収益比率	39.8		14.6	53.9
他会計繰入金対総収益比率	27.7		12.5	33.9
実質収益対経常費用比率	74.9		86.0	66.0

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	1,311,744
1 固定資産	1,026,630
(1) 有形固定資産	1,026,331
(2) 無形固定資産	299
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	285,114
(1) 現金及び預金	182,984
(2) 未収金及び未収収益	100,109
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	1,643
3 繰延資産	-
負債合計	1,109,899
1 固定負債	745,013
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	729,843
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	15,170
(7) リース債務	-
2 流動負債	155,254
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	102,517
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,189
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	24,448
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	209,632
(1) 長期前受金	483,220
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	273,588
資本合計	201,845
1 資本金	99,913
2 剰余金	101,932
(1) 資本剰余金	16,906
(2) 利益剰余金	85,026
負債・資本合計	1,311,744
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	240,314	240,314
資本勘定繰入	50,250	49,686
計	290,564	290,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	秋田県
	市町村・組合名	北秋田市
	病院名	北秋田市民病院

施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	27,304 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨が感へ災
診療科数	21	看護配置	10:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	224	62.4	67.5	58.4
療養	48	80.5	88.1	70.8
結核	4	36.2	16.2	41.6
精神	40	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	320	56.2	60.7	52.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	21.0	17.9

設立団体の状況		
人口(人)	33,224	
決算規模(千円)	24,111,045	
標準財政規模(千円)	13,775,764	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	58.5

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	803,734			
1 経常収益	803,734			
(1) 医業収益	59,500			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	59,500			
(うち他会計負担金)	59,500			
(2) 医業外収益	744,234			
(うち国・都道府県補助金)	19,244			
(うち他会計補助・負担金)	457,697			
(うち長期前受金戻入)	40,712			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,117,640			
2 経常費用	1,117,640			
(1) 医業費用	740,466			
職員給与費	-	-	56.0	57.1
材料費	-	-	24.1	23.9
(うち薬品費)	-	-	12.6	12.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	11.4
減価償却費	327,638	550.7	9.2	9.5
経費	412,828	693.8	23.2	22.0
(うち委託料)	268,519	451.3	11.3	10.8
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	377,174			
(うち支払利息)	102,108	171.6	1.6	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-313,906			
純損益	-313,906			
累積欠損金	3,122,363			
経常収支比率	71.9		98.2	96.7
医業収支比率	8.0		88.3	88.4
他会計繰入金対経常収益比率	64.3		12.5	11.7
他会計繰入金対医業収益比率	869.2		14.6	13.5
他会計繰入金対総収益比率	64.3		12.5	11.7
実質収益対経常費用比率	25.6		86.0	85.4

備考:  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,843,849
1 固定資産	5,726,365
(1) 有形固定資産	5,537,063
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	189,302
2 流動資産	117,484
(1) 現金及び預金	98,240
(2) 未収金及び未収収益	19,244
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	6,497,893
1 固定負債	5,390,077
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,278,179
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	111,898
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	357,155
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	239,671
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	117,484
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	750,661
(1) 長期前受金	1,248,938
(2) 長期前受金収益化累計額( )	498,277
資本合計	-654,044
1 資本金	2,468,319
2 剰余金	-3,122,363
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-3,122,363
負債・資本合計	5,843,849
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	654,044
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	140,518	517,197
資本勘定繰入	90,421	235,564
計	230,939	752,761

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5247.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>		都道府県名	秋田県
		市町村・組合名	北秋田市
		病院名	阿仁病院
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数（一般病床のみ）		-	-	-

設立団体の状況		
人口（人）	33,224	
決算規模（千円）	24,111,045	
標準財政規模（千円）	13,775,764	
財政力指数	0.26	
経常収支比率（%）	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	10.9
	将来負担比率（%）	58.5

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	625			
1 経常収益	625			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	625			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	625			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	625			
2 経常費用	625			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	71.8
材料費	-	-	24.1	16.5
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.6
減価償却費	-	-	9.2	12.2
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	625			
(うち支払利息)	625	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	97.1
医業収支比率	-		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	-		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金（ ）	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	-
修正医業収支金額（千円）	-

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	416	625
資本勘定繰入	1,145	1,717
計	1,561	2,342

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	5247.7
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：

- ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
- ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	秋田県
	市町村・組合名	北秋田市
	病院名	米内沢総合病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	33,224	
決算規模(千円)	24,111,045	
標準財政規模(千円)	13,775,764	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.9
	将来負担比率(%)	58.5

施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m <sup>2</sup>	指定病院の状況	
診療科数	-	看護配置	
許可公営企業		経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収支金額(千円)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,131			
1 経常収益	2,131			
(1) 医業収益	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,131			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	2,131			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,131			
2 経常費用	2,131			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	56.0	71.8
材料費	-	-	24.1	16.5
(うち薬品費)	-	-	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.1	5.6
減価償却費	-	-	9.2	12.2
経費	-	-	23.2	31.2
(うち委託料)	-	-	11.3	12.3
研究研修費	-	-		
資産減耗費	-	-		
(2) 医業外費用	2,131			
(うち支払利息)	2,131	-	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	97.1
医業収支比率	-		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	100.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	-		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金( )	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額( )	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額( )	-
資本不足額(繰延収益控除後)( )	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,348	2,131
資本勘定繰入	5,233	8,417
計	6,581	10,548

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	5247.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> ( 30 年度 )				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	仙北市
				病院名	田沢湖病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	6,006 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	臨		
診療科数	9	看護配置	13:1		
許可公営企業	許可	経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上～100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 ( %・日 )				
区分	病床数	30 年度	29 年度	28 年度
一般	60	78.5	80.3	85.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	78.5	80.3	85.2
平均在院日数(一般病床のみ)		79.1	77.3	72.9

設立団体の状況		
人口(人)	27,523	
決算規模(千円)	19,878,749	
標準財政規模(千円)	11,874,162	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	114.1

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	72.8
修正医業収支金額(千円)	623,428

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	893,588			
1 経常収益	893,588			
(1) 医業収益	642,496			
入院収益	392,903			
外来収益	198,585			
診療収入計	591,488			
その他医業収益	51,008			
(うち他会計負担金)	19,068			
(2) 医業外収益	251,092			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	240,368			
(うち長期前受金戻入)	8,620			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	893,344			
2 経常費用	893,344			
(1) 医業費用	856,361			
職員給与費	417,057	64.9	56.0	71.8
材料費	75,966	11.8	24.1	16.5
(うち薬品費)	39,069	6.1	12.6	10.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,845	4.3	11.1	5.6
減価償却費	73,061	11.4	9.2	12.2
経費	288,654	44.9	23.2	31.2
(うち委託料)	53,651	8.4	11.3	12.3
研究研修費	1,556			
資産減耗費	67			
(2) 医業外費用	36,983			
(うち支払利息)	18,321	2.9	1.6	1.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	244			
純損益	244			
累積欠損金	1,513,520			
経常収支比率	100.0		98.2	97.1
医業収支比率	75.0		88.3	75.5
他会計繰入金対経常収益比率	29.0		12.5	22.9
他会計繰入金対医業収益比率	40.4		14.6	31.3
他会計繰入金対総収益比率	29.0		12.5	22.9
実質収益対経常費用比率	71.0		86.0	74.9

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,790,005
1 固定資産	10,161,779
(1) 有形固定資産	9,709,910
(2) 無形固定資産	1,869
(3) 投資その他の資産	450,000
2 流動資産	628,226
(1) 現金及び預金	23,166
(2) 未収金及び未収収益	586,131
(3) 貸倒引当金( )	6,279
(4) 貯蔵品	25,208
3 繰延資産	-
負債合計	12,910,476
1 固定負債	10,787,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,242,386
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,544,807
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,801,050
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	468,270
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	153,950
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	885,000
(8) 未払金及び未払費用	274,115
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	322,233
(1) 長期前受金	876,942
(2) 長期前受金収益化累計額( )	554,709
資本合計	-2,120,471
1 資本金	3,021,006
2 剰余金	-5,141,477
(1) 資本金剰余金	284,598
(2) 利益剰余金	-5,426,075
負債・資本合計	10,790,005
不良債務	704,554
実質資金不足額	704,554
資本不足額( )	2,120,471
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,798,238
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	259,436	259,436
資本勘定繰入	62,310	62,310
計	321,746	321,746

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30 年度	704,554	18.9
29 年度	669,205	17.4
28 年度	768,289	18.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	145.9
健全化法上の資金不足額(千円)	704,554
健全化法上の資金不足比率(%)	18.9
地財法上の資金不足額(千円)	704,554
地財法上の資金不足比率(%)	18.9

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> (30年度)	都道府県名	秋田県
	市町村・組合名	仙北市
	病院名	角館総合病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療  
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	170	85.4	88.2	82.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	36	-	50.1	48.8
感染症	-	-	-	-
計	206	70.4	81.5	75.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.5	15.7	15.9

設立団体の状況		
人口(人)	27,523	
決算規模(千円)	19,878,749	
標準財政規模(千円)	11,874,162	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	99.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.3
	将来負担比率(%)	114.1

施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	16,034 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 災 輪
診療科数	15	看護配置	7:1
許可公営企業	許可	経営形態	直営
DPC対象病院	-	類似区分	200床以上~300床未満

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	74.7
修正医業収支金額(千円)	2,950,108

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,717,210			
1 経常収益	3,690,588			
(1) 医業収益	3,075,760			
入院収益	1,902,567			
外来収益	956,426			
診療収入計	2,858,993			
その他医業収益	216,767			
(うち他会計負担金)	125,652			
(2) 医業外収益	614,828			
(うち国・都道府県補助金)	22,810			
(うち他会計補助・負担金)	567,142			
(うち長期前受金戻入)	6,090			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	26,622			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	4,779,139			
2 経常費用	4,079,665			
(1) 医業費用	3,951,757			
職員給与費	2,022,091	65.7	56.0	59.3
材料費	596,019	19.4	24.1	19.3
(うち薬品費)	270,614	8.8	12.6	9.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	295,939	9.6	11.1	9.2
減価償却費	412,047	13.4	9.2	10.3
経費	872,622	28.4	23.2	27.6
(うち委託料)	263,837	8.6	11.3	12.3
研究研修費	46,585			
資産減耗費	2,393			
(2) 医業外費用	127,908			
(うち支払利息)	15,725	0.5	1.6	1.7
(3) 特別損失	699,474			
損益				
経常損益	-389,077			
純損益	-1,061,929			
累積欠損金	3,912,555			
経常収支比率	90.5		98.2	96.7
医業収支比率	77.8		88.3	85.5
他会計繰入金対経常収益比率	18.8		12.5	13.7
他会計繰入金対医業収益比率	22.5		14.6	16.4
他会計繰入金対総収益比率	18.6		12.5	14.0
実質収益対経常費用比率	73.5		86.0	83.4

備考：  
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,790,005
1 固定資産	10,161,779
(1) 有形固定資産	9,709,910
(2) 無形固定資産	1,869
(3) 投資その他の資産	450,000
2 流動資産	628,226
(1) 現金及び預金	23,166
(2) 未収金及び未収収益	586,131
(3) 貸倒引当金( )	6,279
(4) 貯蔵品	25,208
3 繰延資産	-
負債合計	12,910,476
1 固定負債	10,787,193
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,242,386
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,544,807
(7) リース債務	-
2 流動負債	1,801,050
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	468,270
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	153,950
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	885,000
(8) 未払金及び未払費用	274,115
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	322,233
(1) 長期前受金	876,942
(2) 長期前受金収益化累計額( )	554,709
資本合計	-2,120,471
1 資本金	3,021,006
2 剰余金	-5,141,477
(1) 資本金剰余金	284,598
(2) 利益剰余金	-5,426,075
負債・資本合計	10,790,005
不良債務	704,554
実質資金不足額	704,554
資本不足額( )	2,120,471
資本不足額(繰延収益控除後)( )	1,798,238
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	692,794	692,794
資本勘定繰入	217,346	217,346
計	910,140	910,140

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
30年度	704,554	18.9
29年度	669,205	17.4
28年度	768,289	18.6

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	145.9
健全化法上の資金不足額(千円)	704,554
健全化法上の資金不足比率(%)	18.9
地財法上の資金不足額(千円)	704,554
地財法上の資金不足比率(%)	18.9

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

<b>病院事業決算状況</b> <b>( 30 年度)</b>				都道府県名	秋田県
				市町村・組合名	羽後町
				病院名	羽後病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	10,299 m <sup>2</sup>	指定病院の状況	救臨 輪		
診療科数	10	看護配置	10 : 1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン（放射線）診療  
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院  
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数（%・日）				
区分	病床数	30年度	29年度	28年度
一般	114	68.4	67.8	68.9
療養	54	45.1	46.0	49.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	168	60.9	60.8	62.7
平均在院日数（一般病床のみ）		16.0	17.0	16.0

設立団体の状況		
人口（人）	15,319	
決算規模（千円）	8,567,284	
標準財政規模（千円）	5,150,413	
財政力指数	0.25	
経常収支比率（%）	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率（%）	-
	連結実質赤字比率（%）	-
	実質公債費比率（%）	9.6
	将来負担比率（%）	45.4

損益計算書（千円・%）				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,201,424			
1 経常収益	2,201,424			
(1) 医業収益	1,929,297			
入院収益	1,348,052			
外来収益	455,772			
診療収入計	1,803,824			
その他医業収益	125,473			
(うち他会計負担金)	58,500			
(2) 医業外収益	272,127			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	251,500			
(うち長期前受金戻入)	14,187			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,201,266			
2 経常費用	2,201,266			
(1) 医業費用	2,100,275			
職員給与費	1,161,294	60.2	56.0	61.8
材料費	382,067	19.8	24.1	17.7
(うち薬品費)	175,029	9.1	12.6	8.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	183,130	9.5	11.1	8.2
減価償却費	141,219	7.3	9.2	10.4
経費	406,137	21.1	23.2	29.9
(うち委託料)	180,728	9.4	11.3	12.9
研究研修費	8,391			
資産減耗費	1,167			
(2) 医業外費用	100,991			
(うち支払利息)	39,306	2.0	1.6	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	158			
純損益	158			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		98.2	96.7
医業収支比率	91.9		88.3	83.0
他会計繰入金対経常収益比率	14.1		12.5	16.6
他会計繰入金対医業収益比率	16.1		14.6	20.5
他会計繰入金対総収益比率	14.1		12.5	16.8
実質収益対経常費用比率	85.9		86.0	80.7

備考：  
「類似平均」については類似区分（一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中）に基づき算出している。

貸借対照表（千円・%）	
区分	決算額
資産合計	2,797,580
1 固定資産	2,326,717
(1) 有形固定資産	2,326,022
(2) 無形固定資産	695
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	470,863
(1) 現金及び預金	148,297
(2) 未収金及び未収収益	317,624
(3) 貸倒引当金（ ）	6,955
(4) 貯蔵品	11,897
3 繰延資産	-
負債合計	1,648,331
1 固定負債	1,006,613
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,006,300
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債（特例債含む）	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	313
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	396,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	196,679
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	61,943
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	135,184
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	244,899
(1) 長期前受金	692,673
(2) 長期前受金収益化累計額（ ）	447,774
資本合計	1,149,249
1 資本金	1,088,671
2 剰余金	60,578
(1) 資本金剰余金	19,636
(2) 利益剰余金	40,942
負債・資本合計	2,797,580
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額（ ）	-
資本不足額（繰延収益控除後）（ ）	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率（%）	89.1
修正医業収支金額（千円）	1,870,797

他会計からの繰入状況（千円）		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	265,680	310,000
資本勘定繰入	139,530	-
計	405,210	310,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額（千円）	不良債務比率（%）
30年度	-	-
29年度	-	-
28年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率（%）	-
健全化法上の資金不足額（千円）	-
健全化法上の資金不足比率（%）	-
地財法上の資金不足額（千円）	-
地財法上の資金不足比率（%）	-

備考：  
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。  
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費（経常的経費）に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源（経常一般財源）、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。